

2014年度 決算説明会

2015年5月19日

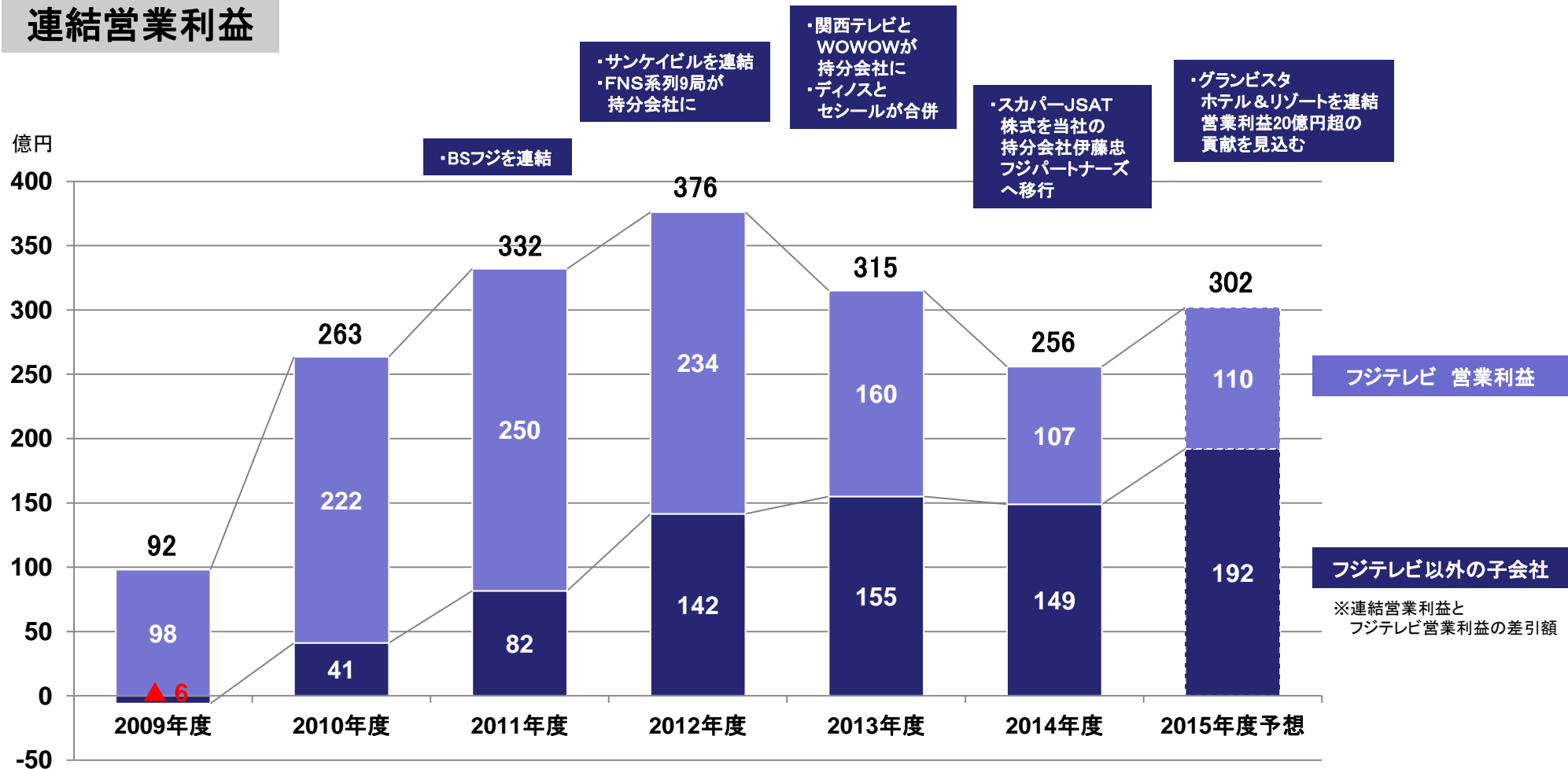
株式会社フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

グループの経営ビジョン

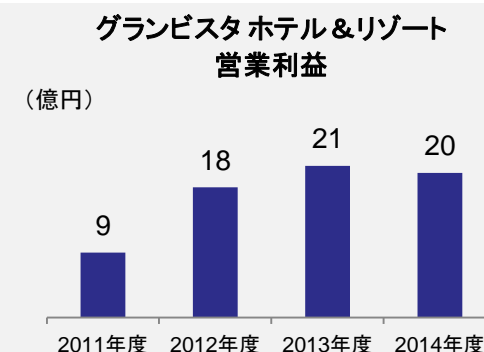
フジテレビ以外の子会社の貢献が着実に拡大

連結営業利益



■グループ業績への安定的な貢献を期待

- ホテル、リゾート、飲食関連等で長年の運営ノウハウと顧客基盤を保有
- サンケイビルが持つ不動産開発力とのシナジーで、収益力の向上と資産価値の増大、中長期の成長を図る
- グループ各事業との連携、将来のMICE/IR特区計画での活躍も視野に



グランビスタの主な事業

シティホテル



「札幌グランドホテル」
札幌初の本格的洋式ホテル
80年の運営実績



「札幌パークホテル」



オリジナル商品の開発・販売

リゾートホテル/レジャー施設



「鴨川シーワールド」
貴重なシャチ等を多数保有



「苫小牧ゴルフリゾート72」



「白良荘グランドホテル」

ビジネスホテル



「銀座グランドホテル」

ハイウェイレストラン

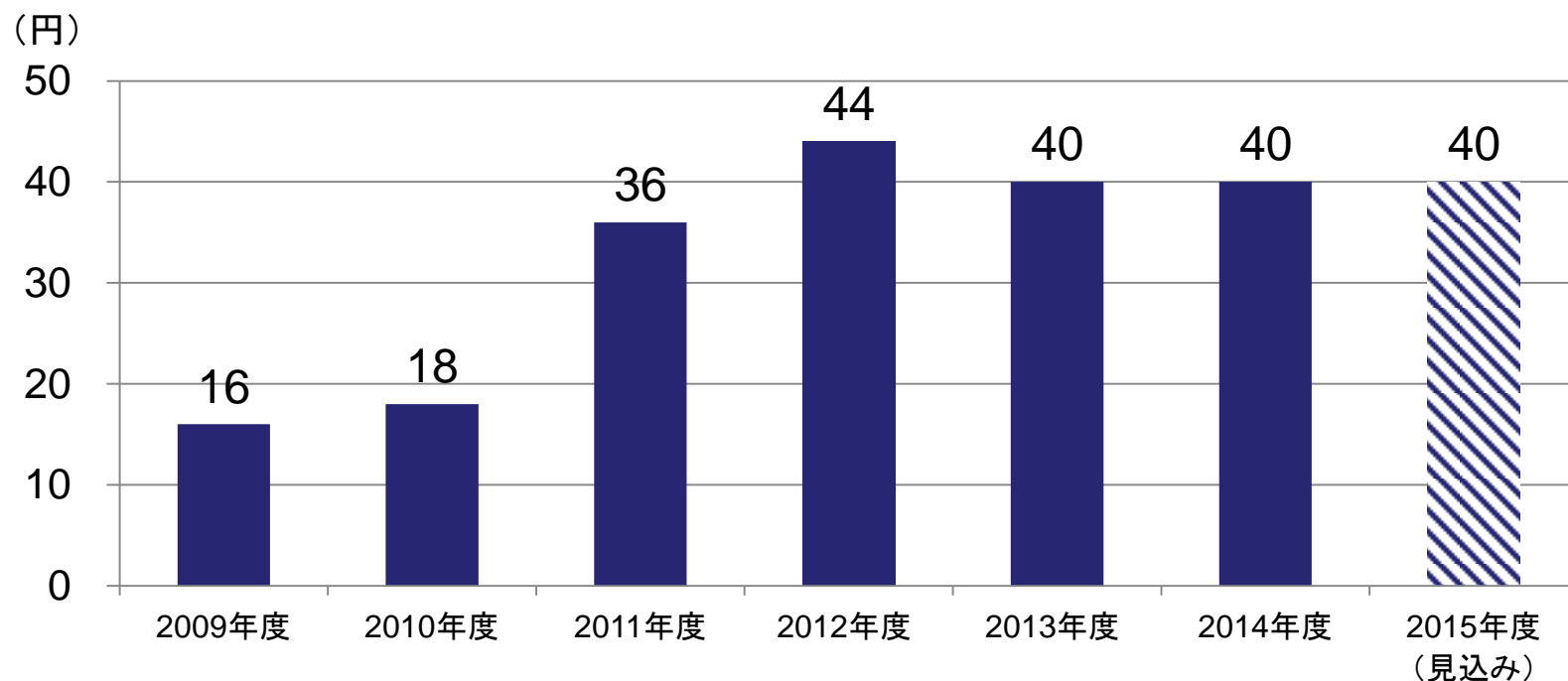


ハイウェイレストラン
3店を経営

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2014年度 期末配当 20円 年間配当 40円

2015年度 年間配当 40円（見込み）



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

当社の業績動向と 各事業の取り組み

連結営業利益256億円 増収 営業減益



フジテレビ

- 放送収入 減収、W杯サッカー放送で制作費増
- 映画、ビデオ等 放送外で大型作が少なく減益

生活情報

- 増税後の影響が長引き、セシールの売上苦戦
- 売上確保のための販促等で費用増 営業赤字

映像音楽

- DVD、CD等でヒット作品が不足 減収減益
- 映画配給への出資金の償却等で原価率上昇

都市開発

- 賃貸ビルは稼働率改善により安定した収益確保
- 住宅販売好調、ビル売却等で資産開発も貢献

業績概要

連結	第4四半期			通期		
	2015年 1月～3月	2014年 1月～3月	増減率	2014年度	2013年度	増減率
売上高	177,421	172,958	2.6%	643,313	642,145	0.2%
営業利益	7,440	7,370	0.9%	25,628	31,527	▲18.7%
経常利益	6,671	7,605	▲12.3%	35,102	34,838	0.8%
当期純利益	282	3,487	▲91.9%	19,908	17,282	15.2%

※2014年度の経常利益および当期純利益には、伊藤忠・フジ・パートナーズ(株)の持分法適用関連会社化による負ののれん発生益(約62億円)が含まれます。

※2014年度の特別損失に、生活情報事業における減損損失(約34億円)を計上しています。

フジテレビ	第4四半期			通期		
	2015年 1月～3月	2014年 1月～3月	増減率	2014年度	2013年度	増減率
売上高	75,600	79,446	▲4.8%	310,012	316,846	▲2.2%
営業利益	1,897	2,511	▲24.4%	10,750	16,004	▲32.8%
経常利益	1,931	2,567	▲24.7%	10,934	16,036	▲31.8%
当期純利益	▲67	1,458	-	5,419	8,599	▲37.0%

セグメント別業績【通期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2014年度	2013年度	増減率	2014年度	2013年度	増減率
放送	341,925	346,861	▲1.4%	13,331	18,170	▲26.6%
制作	51,405	51,487	▲0.2%	2,658	2,838	▲6.4%
映像音楽	56,873	60,182	▲5.5%	1,160	2,219	▲47.7%
生活情報	134,538	139,725	▲3.7%	▲607	1,490	-
広告	43,201	44,045	▲1.9%	472	457	3.3%
都市開発	57,129	43,410	31.6%	7,319	5,333	37.2%
その他	27,289	27,669	▲1.4%	943	720	30.9%
調整額	▲69,049	▲71,236	-	351	298	-
連結	643,313	642,145	0.2%	25,628	31,527	▲18.7%

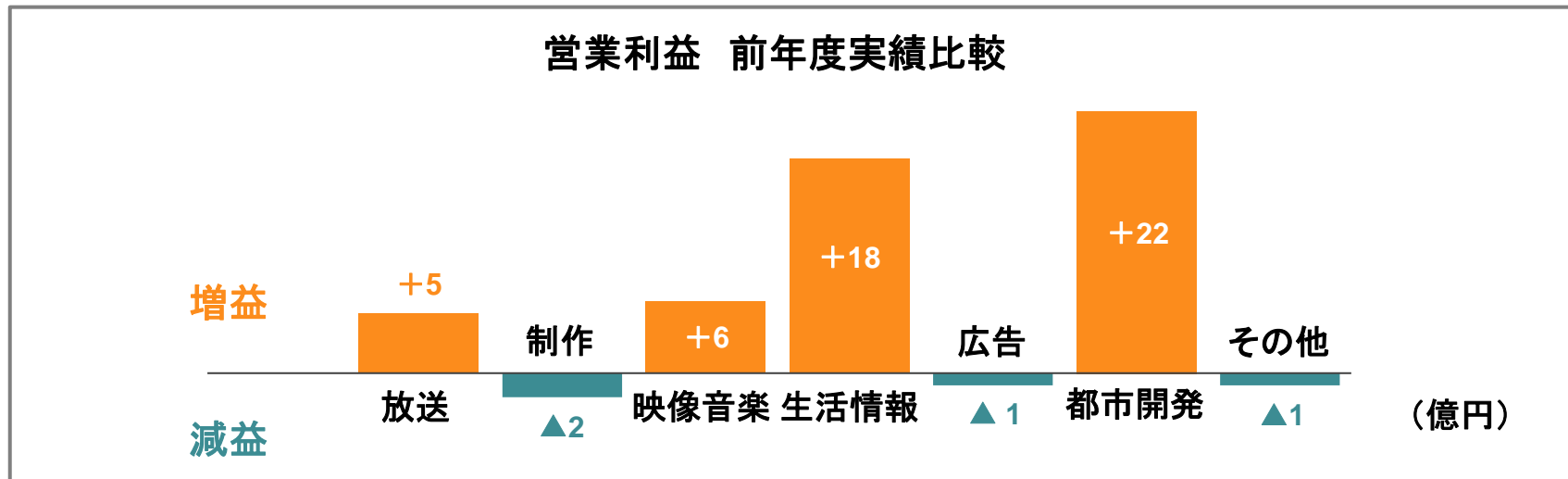
《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィックミュージック
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス ※
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2014年10月 クオラスと協同広告が合併

連結営業利益予想302億円 増収増益を見込む



フジテレビ

- 視聴率改善を図り、広告収入の増加を見込む
- デジタルの収益拡大、映画のラインナップに期待

生活情報

- セシールの業績改善に注力 コストを徹底削減
- カタログ、商品ラインナップを刷新し増収を目指す

映像音楽

- パッケージ以外のビジネスの拡大を図る
- 効率的なコスト運用で増益を目指す

都市開発

- グランビスタを連結 着実な利益貢献を期待
- ビル賃貸、住宅販売に加え、資産開発の好調も見込む

2015年度 業績予想

(単位:百万円)

連結	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	324,000	5.7%	346,000	2.8%	670,000	4.1%
営業利益	8,000	▲16.0%	22,200	37.8%	30,200	17.8%
経常利益	10,500	▲39.4%	24,700	39.0%	35,200	0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,200	▲49.0%	16,100	107.8%	22,300	12.0%

(単位:百万円)

フジテレビ	上期予想	前年比	下期予想	前年比	通期予想	前年比
売上高	154,800	▲1.4%	156,500	2.3%	311,300	0.4%
営業利益	2,400	▲40.3%	8,600	27.7%	11,000	2.3%
経常利益	2,800	▲32.5%	9,100	34.1%	11,900	8.8%
当期純利益	1,600	▲35.4%	5,700	93.8%	7,300	34.7%

	上期予想	下期予想	通期予想
ネットタイム	▲1.8%	1.5%	▲0.2%
ローカルタイム	3.0%	▲2.9%	0.0%
スポット	1.2%	2.5%	1.9%
放送収入合計	▲0.1%	1.7%	0.8%

(前年比)

セグメント別業績予想【通期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年度 通期予想	2014年度 通期	増減率	2015年度 通期予想	2014年度 通期	増減率
放送	340,200	341,925	▲0.5%	13,800	13,331	3.5%
制作	50,700	51,405	▲1.4%	2,500	2,658	▲6.0%
映像音楽	55,600	56,873	▲2.2%	1,800	1,160	55.2%
生活情報	138,300	134,538	2.8%	1,200	▲607	-
広告	42,500	43,201	▲1.6%	400	472	▲15.3%
都市開発	82,100	57,129	43.7%	9,500	7,319	29.8%
その他	27,100	27,289	▲0.7%	800	943	▲15.2%
調整額	▲66,500	▲69,049	-	200	351	-
連結	670,000	643,313	4.1%	30,200	25,628	17.8%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィックミュージック
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス ※
都市開発	サンケイビル、グランビスタホテル&リゾート
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2014年10月 クオラスと協同広告が合併

セグメント別業績予想【上期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年度 上期予想	2014年度 上期	増減率	2015年度 上期予想	2014年度 上期	増減率
放送	169,000	170,305	▲0.8%	4,100	5,641	▲27.3%
制作	25,000	25,082	▲0.3%	1,100	1,285	▲14.4%
映像音楽	28,200	27,699	1.8%	400	▲56	-
生活情報	63,200	62,169	1.7%	▲1,100	▲1,550	-
広告	20,800	21,400	▲2.8%	200	224	▲10.8%
都市開発	37,800	21,355	77.0%	2,900	3,186	▲9.0%
その他	13,200	12,992	1.6%	400	493	▲18.9%
調整額	▲33,200	▲34,363	-	0	294	-
連結	324,000	306,641	5.7%	8,000	9,518	▲16.0%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィックミュージック
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス ※
都市開発	サンケイビル、グランビスタホテル&リゾート
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2014年10月 クオラスと協同広告が合併

4月改編 最大規模の番組改編を実施

「LIFE IS LIVE」をテーマに

- 視聴者の信頼と支持の向上に注力
- ライブ番組をはじめ新番組をゴールデンタイム、午後帯に投入
- 支持の拡大に向け、各レギュラー番組の企画強化を継続へ

6月からはスポーツ中継ほか大型単発番組の放送も予定

(単位: 億円)

	2014年度	2013年度	増減率
第1四半期	260	241	7.9%
第2四半期	256	247	3.4%
上期	516	488	5.6%
第3四半期	251	241	4.3%
第4四半期	240	253	▲5.2%
下期	491	494	▲0.6%
通期	1,007	983	2.5%

 ※自社制作番組及び
購入番組の直接費

2014年度はFIFAワールドカップの放送により前年比で増加

2015年度は前年より減少を見込む

■ その他事業

(単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減額
その他事業収入	46,897	50,770	▲3,872
イベント	16,826	17,842	▲1,016
映画	7,531	9,531	▲2,000
ビデオ	4,128	5,975	▲1,847
MD	6,709	6,498	210
デジタル	6,754	6,175	578
その他	4,947	4,745	202

■ その他放送事業

(単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減額
その他放送事業収入	31,993	32,759	▲766
番組販売	18,253	18,318	▲64
CS放送・その他	13,739	14,440	▲701

イベント事業

■シルク・ドゥ・ソレイユ 「OVO」(オーヴォ)



東京・大阪・名古屋・福岡公演
累計動員数 119万2,900人の大ヒット
最終の仙台公演は6月7日まで

■ULTRA JAPAN

昨年大成功をおさめた
ダンスミュージックイベント
今年も、お台場で開催



9月19日～21日

『a-nation』

夏の恒例
音楽ライブイベント
7月31日～8月30日



『伝説の洋画家たち 二科100年展』

全国の70を超える
美術館・所蔵者から
名作が上野に集結

伝説の洋画家たち
二科100年展
7月18日～9月6日

ブロードウェイミュージカル『ピピン』

2013年トニー賞受賞作
が早くも来日
9月4日～9月20日



スーパー歌舞伎Ⅱ『ワンピース』

人気アニメ『ワンピース』
の世界観を歌舞伎で表現
10月、11月

ONE PIECE
×
スーパー歌舞伎Ⅱ

映画事業

■2015年映画 スタート好調

「TERRACE HOUSE
~CLOSING DOOR~」



興行収入12億円を記録

「暗殺教室」



興行収入27億円突破
(5月17日現在)
第2弾の製作も決定

「ドラゴンボールZ 復活のF」



興行収入34億円突破
(5月17日現在)
大ヒット上映中

2015年度は大型作、期待作をラインナップ

6月13日	海街diary 『そして父になる』是枝監督の次回作 ベストセラー原作 主演:綾瀬はるか 長澤まさみ 他
7月18日	HERO 歴史に残る高視聴率を獲得した大ヒットドラマ『HERO』の映画化第2弾 前作興収は81.5億円 主演:木村拓哉 北川景子 他
9月5日	アンフェア the end 大ヒットドラマ『アンフェア』の映画化第3弾にしてシリーズ完結編 主演:篠原涼子 他
10月24日	ギャラクシー街道 興収60.8億を記録した『THE有頂天ホテル』をはじめ、数々の大ヒットを生んだ 三谷幸喜監督待望の最新作 主演:香取慎吾 綾瀬はるか 他
冬	開局55周年記念プロジェクト 信長協奏曲 アニメシリーズ、連続ドラマに続く大型企画 主演:小栗旬 他

- 自社コンテンツを強みに、独自プラットフォームとして成長
番組、映画、アニメ、ライブ配信、電子コミック等、品揃えを拡大
有料、無料広告、見放題パックなどで様々な視聴ニーズに対応

- 無料配信で来客数を最大化
2015年4月 広告セールスを開始 将来の新たな収益モデルを創出へ



有料⇔無料の視聴の流れをつくり、会員基盤の拡大と収益の最大化を図る

ゲーム

■ Fuji&gumi Games

本格アプリ第1弾
「ファントム オブ キル」



180万ダウンロード突破(4月末時点)で大きな成功

3月の本格プロモーション実施で売上が一層拡大

継続的な大型作のリリースを目指し、次回作の企画・開発がスタート

■ 自社運営のロングラン作品が着実に貢献



「ゲゲゲの鬼太郎 妖怪横丁」



「テルマエ・ロマエ」

企画制作、プロモーションなどノウハウが蓄積
規模が大きいアプリゲーム市場も視野に入れ、
一層の成長を目指す

アニメ

■ 大型劇場版アニメの開発を視野に アニメ事業が本格化

2015年は劇場版アニメを続々投入



「台風のノルダ」
6月5日公開

新進気鋭のアニメーション制作会社・スタジオコロリドと
フジテレビの共同プロジェクト第1弾
今後も継続的な新作の発表を予定

「心が叫びたがってるんだ。」

興収10億円を突破した大ヒット映画
「あの花」の制作陣が再結集



9月19日公開

伊藤計劃プロジェクト



「虐殺器官」 10月公開

「ハーモニー」 11月公開

「屍者の帝国」 12月公開

■ MD、海外展開を含めた多角的ビジネスで 収益の最大化を図る

放送事業 (BSフジ)

BSメディアの存在感が高まり 着実に増収増益

- 機械式接触率調査がスタート（2015年4月）
広告メディアとしての価値の一層の向上に期待
- 4月改編では、より多くの層にアピールする、
強力な番組を投入

土曜21時
「華大の知りたい！サタデー」



4月 新・情報ライブ番組がスタート
セールス好調

月曜～金曜 20時
「プライムニュース」



安定した看板番組として
大手広告主から高評価

映像音楽事業 (ポニーキャニオン)

パッケージのみに頼らない体質を目指す

- 幅広い権利取得でライブ、イベント、配信、
グッズなど収益源を多様化、安定的に
収益を確保できる体制へ
- 制作段階への参画・出資を継続
- 効率的なコスト運用により、収益性の改善
と持続的な成長を図る



「響け！ユーフォニアム」
アニメ制作に出資

Blu-ray/DVD 6月発売
海外への番組販売・配信等も予定



「ダイヤのA」
製作に出資

生活情報事業 (ディノス・セシール)

セシール事業を抜本的に改革、 早期の業績改善を図る

- コストコントロールを徹底
不採算事業からの撤退、製造原価の低減
販促はより効率的に実施
- カタログの編集方針を一新 増収を目指す
購買層、年齢層ごとにターゲット戦略を明確化
従来より上のクオリティの商品投入で単価アップ

「プランプ」



LLサイズ以上に特化
新規市場に進出

「イマージュ」



F1層顧客の拡大を図る

「レディースセシール」



紙面デザインを改革
“ファッション誌型”を目指す

都市開発事業 (サンケイビル)

ビル賃貸、住宅販売が好調 収益貢献

- ビル賃貸
引き続き安定した賃貸収入を見込む
成長に向けて高付加価値のミッドサイズオフィス
ビルの開発も推進
- 住宅販売
2015年度 前年並みの販売戸数を予定
大都市通勤圏の好立地に狙いを絞り開発

■大型開発プロジェクトに参画へ

【豊島区庁舎跡地の再開発事業】

(東京建物、鹿島建設との共同プロジェクト)

大規模オフィスに加え、シネコンや
ホール、劇場、商業施設を設置
賑わい創出の拠点として整備



2019年～2020年完成予定

訪日外国人向けビジネス


英字インターネット・メディア 「ジープラス・メディアグループ」を取得

子会社「フジテレビラボ」の傘下に

主な運営メディア

JAPANTODAY 英字ニュースサイト
認知度の高さを武器に外国人を集客

GaijinPot
求人などの生活情報サイト

 realestate.co.jp
不動産賃貸・売買
ポータルサイト

日本在住の英語圏の外国人に向けて
強い情報発信力を保有

- ✓ 求人情報、不動産情報(賃貸、売買)等で
広告収入を獲得
- ✓ インバウンド市場を視野に、外国人観光客
向けビジネスへの参入も検討

デジタル領域の人材ビジネス

人材ビジネス 「フジスマートワーク」を設立

デジタルハリウッド株式会社と協業

高成長が見込まれる、デジタルコンテンツや
情報通信技術分野に特化した人材事業に進出

- ✓ デジタルハリウッドの卒業生をはじめ
クリエイター・技術者とWebデザイン、CG、
動画、アニメ等の仕事をマッチング
- ✓ クオリティの高い業務受託・請負事業、
研修・学習支援事業等

(単位:億円)

設備投資計画		2014年度 通期 (実績)	2015年度 通期 (予定)	2016年度 通期 (予定)
設備投資額	連結	198	362	320
	フジテレビ	78	75	75
	都市開発事業	79	243	226
	フジ・メディアHD	6	4	5
	連結	194	202	201
減価償却費	フジテレビ	93	92	93
	都市開発事業	35	47	47
	フジ・メディアHD	24	24	24
	連結	194	202	201

参考資料

フジテレビ 売上高・営業費用内訳

(単位:百万円)

	第4四半期			通期		
	2015年 1月～3月	2014年 1月～3月	増減率	2014年度	2013年度	増減率
放送事業収入	64,966	67,066	▲3.1%	263,114	266,076	▲1.1%
放送収入	56,751	59,060	▲3.9%	231,121	233,316	▲0.9%
その他放送事業収入	8,214	8,006	2.6%	31,993	32,759	▲2.3%
その他事業収入	10,634	12,380	▲14.1%	46,897	50,770	▲7.6%
売上高合計	75,600	79,446	▲4.8%	310,012	316,846	▲2.2%
放送事業原価	42,866	44,817	▲4.4%	176,421	175,585	0.5%
その他事業原価	9,173	9,972	▲8.0%	39,260	40,865	▲3.9%
販売費・一般管理費	21,662	22,145	▲2.2%	83,579	84,390	▲1.0%
営業利益	1,897	2,511	▲24.4%	10,750	16,004	▲32.8%

	第4四半期		通期	
	2015年 1月～3月	前年比	2014年度	前年比
ネットタイム	25,912	▲6.7%	106,379	▲2.2%
ローカルタイム	3,765	3.8%	15,200	3.3%
スポット	27,073	▲2.1%	109,541	▲0.3%
放送収入合計	56,751	▲3.9%	231,121	▲0.9%

(単位:百万円)

スポット収入業種別動向 2015年1月～3月 ※管理ベース

業種	シェア	前年シェア	前年比	業種	シェア	前年シェア	前年比
通信	15.8%	14.5%	6.1%	医薬品・医療用品	4.6%	4.1%	9.4%
外食・各種サービス	11.6%	9.7%	15.7%	アルコール飲料	4.1%	4.6%	▲12.6%
化粧品・トイレタリー	11.3%	10.1%	8.9%	流通・小売業	3.4%	4.8%	▲31.4%
自動車・関連品	8.0%	8.2%	▲5.4%	不動産・住宅設備	3.2%	3.7%	▲16.1%
食品	6.3%	6.2%	▲1.1%	衣料・身回品・雑貨	2.9%	4.5%	▲38.2%
エンタテイメント	6.2%	8.6%	▲29.9%	事務・精密・光学機器	2.7%	3.1%	▲15.2%
金融・保険	6.1%	5.6%	5.4%	家電・AV機器	1.3%	1.6%	▲20.2%
非アルコール飲料	5.8%	6.1%	▲7.0%	エネルギー・機械	0.3%	0.3%	25.8%
交通・レジャー・観光	4.9%	2.9%	65.7%	その他	1.3%	1.2%	1.6%

セグメント別業績【第4四半期】

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2015年 1月～3月	2014年 1月～3月	増減率	2015年 1月～3月	2014年 1月～3月	増減率
放送	85,509	88,788	▲3.7%	2,222	3,213	▲30.9%
制作	13,572	13,744	▲1.3%	618	617	0.1%
映像音楽	16,228	15,553	4.3%	925	844	9.6%
生活情報	32,795	36,947	▲11.2%	▲224	405	-
広告	10,464	12,298	▲14.9%	50	127	▲60.0%
都市開発	29,144	17,399	67.5%	3,651	1,993	83.2%
その他	7,094	7,471	▲5.0%	92	166	▲44.3%
調整額	▲17,387	▲19,244	-	104	1	-
連結	177,421	172,958	2.6%	7,440	7,370	0.9%

《主な連結子会社》

放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、BSフジ
制作	共同テレビジョン、フジクリエイティブコーポレーション、フジアール
映像音楽	ポニーキャニオン、フジパシフィックミュージック
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞社

広告	クオラス ※
都市開発	サンケイビル
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト

※2014年10月 クオラスと協同広告が合併

■ ニッポン放送(放送事業) (単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	18,753	18,360	2.1%
営業利益	151	147	2.3%
経常利益	12	62	▲80.7%
当期純利益	1,942	▲691	-

■ ポニーキャニオン(映像音楽事業) (単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	42,564	46,702	▲8.9%
営業利益	704	1,236	▲43.0%
経常利益	887	1,450	▲38.8%
当期純利益	570	554	2.8%

■ BSフジ(放送事業) (単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	15,225	13,810	10.2%
営業利益	2,400	1,941	23.7%
経常利益	2,437	1,992	22.3%
当期純利益	1,531	1,190	28.6%

■ ディノス・セシール(生活情報事業) (単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	117,379	121,984	▲3.8%
営業利益	▲429	1,624	-
経常利益	▲334	1,767	-
当期純利益	▲5,355	1,240	-

※2013年7月の合併前は、ディノス、セシール(単体)、フジ・ダイレクト・マーケティングの合計

※2014年度の業績には、事業用資産に関する減損損失(特別損失)を計上しています。計上額は連結とディノス・セシールで異なります。これは当該資産の貸借対照表計上額の違いに起因するものです。

■ クオラス(広告事業)

(単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	44,199	46,325	▲4.6%
営業利益	461	453	1.8%
経常利益	562	555	1.3%
当期純利益	532	293	81.7%

※2014年10月の合併前は、クオラスと協同広告の合計

■ サンケイビル(都市開発事業)

(単位:百万円)

	2014年度	2013年度	増減率
売上高	49,092	35,743	37.3%
営業利益	6,795	5,664	20.0%
経常利益	5,691	4,574	24.4%
当期純利益	3,390	2,273	49.1%

※2013年度の都市開発事業とサンケイビル(単体)の業績には、保有ビル売却による利益計上額に差異があります。差異は、当該ビルの貸借対照表計上額の違いに起因するものです。

- P. 18 : Costumes : Liz Vandal © 2013,2014 Fuji Television
P. 18 : © 2015 フジテレビジョン イースト・グループ・ホールディングス 東宝 電通 FNS27社
P. 18 : © 2015 フジテレビジョン 集英社 ジェイ・ストーム 東宝 ROBOT © 松井優征／集英社
P. 18 : © 「2015ドラゴンボールZ」製作委員会
P. 19 : © フジテレビ／共同テレビ
P. 19 : © 2014 フジテレビジョン／東宝／電通／エンターブレイン
P. 19 : © サイコパス製作委員会
P. 19 : © フジテレビ／SION
P. 20 : © Fuji&gumi Games
P. 20 : © 水木プロ／フジテレビ
P. 20 : © MY by eb! © 2012 F／T／D／E
P. 20 : © 2015 映画「台風のノルダ」製作委員会
P. 20 : © KOKOSAKE PROJECT
P. 20 : © Project Itoh／GENOCIDAL ORGAN
P. 20 : © Project Itoh／HARMONY
P. 20 : © Project Itoh／THE EMPIRE OF CORPSES
P. 21 : © 武田綾乃・宝島社／『響け！』製作委員会